

## 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会 ワークショップ

### 「みんなで考えよう PSG のアーチファクトと判定困難例」の症例募集

技師向けワークショップとして、PSG の症例検討を前 2 回の日本睡眠学会学術大会で施行してまいりました。今回は日本 PSG 研究会と共催で行うことになり、つきましては、PSG 研究会のホームページを利用して、症例を公募いたします。

タイトル：みんなで考えよう PSG のアーチファクトと判定困難例

オーガナイザ：川名ふさ江（順天堂大学大学院心血管睡眠呼吸医学講座）

座長：川名ふさ江・加藤久美（太田睡眠科学センター）

ねらい：PSG 判定のレベルアップを目的とする

概要：各施設で原因追及の困難であったアーチファクト例や臨床的に珍しい症例・判定困難例・PAP タイトレーション困難例などを提示して、会場参加者と討議しながら結論を導いていく。発表者が症例と問題点を提示してから会場討論を行い、最後に発表者自身が持っている考察述べる。アーチファクト 2～3 例、臨床的判定困難例を 2～3 例、全体で 5 症例の発表を予定している。

#### 応募方法

タイトルと症例の概要を記載したメールをオーガナイザの川名あてにお送りください。メールアドレスは、[nadeshiko.kawana@gmail.com](mailto:nadeshiko.kawana@gmail.com) です。締め切りは 3 月 27 日、3 月 29 日には採択の結果を応募者全員にご連絡いたします。採択されると抄録の提出が必要になり、抄録締め切りは 4 月 27 日に予定されています。